

東京港青海A4・横浜港本牧BCの連携 (コンテナ搬入出の手続き) 操作マニュアル

令和8年1月

はじめに

サイバーポートでは、2025年6月2日より、東京港青海A4 ターミナル及び横浜港本牧BC ターミナルにおいて、従来のデマレッジ料の問合せ等に加えて、コンテナの搬入・搬出等のターミナルへの手続きを一元的に実施可能となっております。

サイバーポートのバージョンアップ(2025年10月)に伴い、本機能においても2026年1月19日よりサイバーポートVer. 2でのコンテナの搬入・搬出等のターミナルへの手続きに対応しました。

本マニュアルでは連携対象となる手続きである「空コンピックアップオーダーの登録」、「コンテナ貨物搬出票の登録」における具体的な操作手順を説明します。

サイバーポートをご活用いただくことで、EDIFACT連携をはじめとして様々な連携データを活用した入力作業の効率化が図れます。また、後続の手続きにおいても登録済みのデータをスムーズに利用できるようになるため、生産性向上や将来的なデータ連携の可能性も大きく広がります。

ぜひこの機会にサイバーポートをご利用いただき、業務効率化とデータ活用にお役立ていただければ幸いです。



空コンピックアップオーダーの登録

対象業務:空コンテナの引取

P.4 ~ P.18



コンテナ貨物搬出票の登録

対象業務:実入コンテナの搬出

P.19 ~ P.34



補足情報・お問合せ先

補足情報:各種一覧・お問合せ先

P.35 ~ P.38

取引の作成

1	取引の作成(輸出)	P.5
2	取引関係先の追加	P.6



プロセスからの帳票作成

3	コンテナ搬出のプロセスの追加	P.8
4	帳票(空コンピックアップオーダー)の作成	P.10



ターミナル受付後の操作


5	画面での受付結果の確認	P.14
6	ターミナル受付後の修正/キャンセル	P.16

その他

7	作成済み帳票へのプロセス適用	P.17
---	----------------	------

1. 取引の作成(輸出)

空コンピックアップオーダーを登録するための輸出取引を作成します。



組織・利用者アカウントの設定がまだの方は、操作マニュアルの「組織を管理する」「利用者を管理する」を参照して、先に設定してください。

①CPログイン後、左側のメニューから「取引」をクリック



②「取引を作成する」をクリック

取引の作成

取引タイプ 必須
Export

取引名 任意
取引名を指定しない場合は、取引管理番号が取引名となります。

取引のオーナー 必須
国際運送事業部

取引のパートナー
無し
取引の作成後に追加します。

作成する取引に関するメッセージ 任意

+ 作成する

⑦「作成する」をクリック

確認

取引を作成しますか？

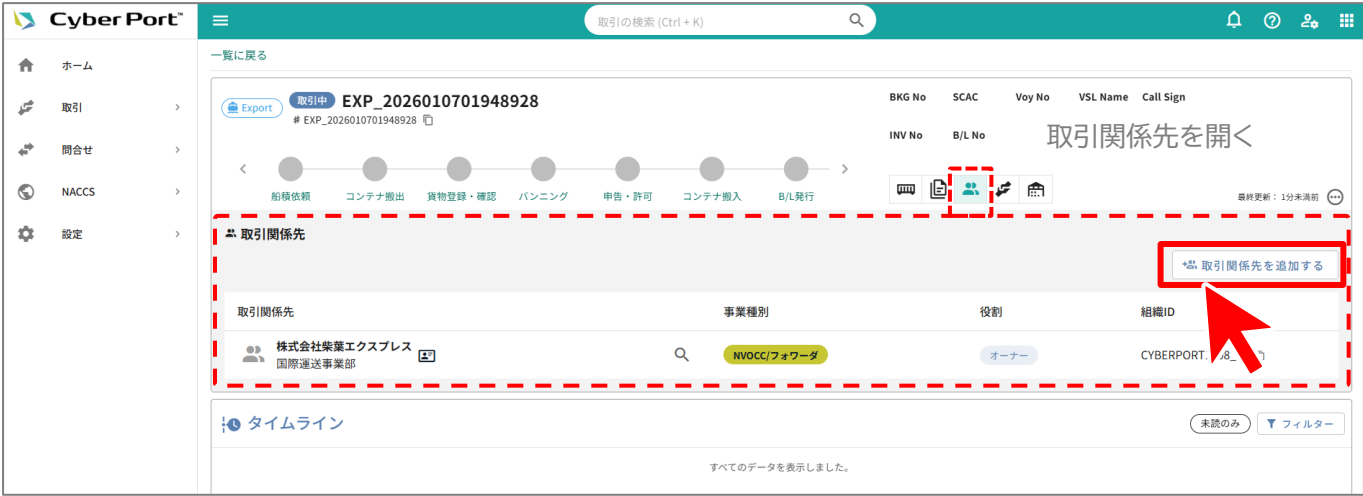
キャンセル OK

⑧確認画面が表示されますので、「OK」をクリックすると、新規に取引が作成されます。

2. 取引先関係先の追加

ターミナルとの連携機能を利用するため、
「取引関係先」に対象のターミナル組織を追加する必要があります。

①作成した取引の取引関係先を開いて、「取引関係先を追加する」をクリック



②取引関係先の検索方法を指定する



③「取引関係先を検索する」をクリック

検索方法と内容

検索方法		内容
A	以前追加した会社・組織を検索	ユーザーの所属組織が過去に取引関係先として追加したことのある会社・組織の中から取引関係先を検索。
B	全ての会社・組織を検索	サイバーポートに登録されている全ての会社・組織から、取引関係先を検索。 ※ 会社名は部分一致で検索
C	組織IDで検索	組織IDを指定して取引関係先を検索。 ※ 検索欄に入力の上、完全一致で検索

2. 関係取引先の追加

7

取引関係先の追加

1 検索方法を指定する

2 取引関係先を選択する

3 取引関係先を追加する

取引関係先	事業種別	組織ID
<input checked="" type="checkbox"/> 株式会社仁徳 ターミナル業務部	ターミナルオペレータ	※こちらのターミナル会社・組織はサンプル

すべてのデータを表示しました。

戻る

次へ

④検索結果から 追加する取引関係先 を選択

対象のターミナル組織が選択されていることを確認。
※対象のターミナル組織については、本マニュアル末尾に掲載の表「ターミナル組織別 プロセス一覧」をご参照ください。

⑤「次へ」をクリック

取引関係先の追加

1 検索方法を指定する

2 取引関係先を選択する

3 取引関係先を追加する

招待元となる会社・組織 **必須**

取引関係先の招待元となる会社・組織を選択します。

招待元となる会社・組織は、取引関係先の帳票アクセス権限の変更等が行えます。

国際運送事業部

追加する取引関係先

取引関係先	事業種別	組織ID
<input checked="" type="checkbox"/> 株式会社仁徳 ターミナル業務部	ターミナルオペレータ	

戻る

取引関係先を追加する

⑥追加する取引関係先の確認

⑦「取引関係先を追加する」をクリック

Cyber Port

取引の検索 (Ctrl + K)

取引の一覧

基本

取引

帳票

日付

積荷港 / 荷揚港

キーワード

取引タイプ

すべて

すべて

検索する

クリア

6 中 6 件 表示中

EXP_2026010701948928

BKG No

SCAC

Voy No

VSL Name

Call Sign

INV No

B/L No

船積依頼

コンテナ搬出

貨物登録・確認

バンニング

申告・許可

コンテナ搬入

B/L発行

取引関係先

⑧ターミナルが取引関係先に追加される

取引関係先	事業種別	役割	組織ID
株式会社仁徳 ターミナル業務部	ターミナルオペレータ		CYBERPORT1004_01
株式会社東葉エクスプレス 国際運送事業部	NVOCC/フォワーダ	オーナー	CYBERPORT1008_01

3. コンテナ搬出のプロセスの追加(空コンピックアップ)

ターミナルが対応しているコンテナ搬出のプロセスを追加することにより、対象帳票(空コンテナピックアップオーダー)に対して、提出時点で必須項目をチェックすることが可能となります。

①CPログイン後、対象の取引を表示し、「コンテナ搬出」のプロセスグループをクリック



②「プロセスを計画する」をクリック



③「計画するプロセスを選択」画面が表示されます。取引関係先に追加したターミナル組織が対応しているプロセスを選択して、「プロセスを計画する」をクリック



対象のターミナル組織の一覧、および対応するプロセス名については、本マニュアル末尾に掲載の表「[ターミナル組織別 プロセス一覧](#)」をご参照ください。

3. コンテナ搬出のプロセスの追加(空コンピックアップ)

9

- ④「プロセスを計画」画面が表示されるので、「プロセスを計画する会社・組織」を選択して「計画する」をクリック(開始予定日時、期限日時は未入力で構いません)



- ⑤コンテナ搬出プロセスグループに プロセス が追加される



4. 帳票(空コンピックアップオーダー)の作成

①追加されたプロセスのタイトルをクリックして、「プロセスを開始する」画面を開きます

取引の検索 (Ctrl + K)

一覧に戻る

Export 取引中 EXP_2026010701948742

BKG No SCAC Voy No VSL Name Call Sign

INV No B/L No

船積依頼 コンテナ搬出 貨物登録・確認 バンニング 申告・許可 コンテナ搬入 B/L発行

最終更新: 14 分前

コンテナ搬出

完了しているプロセス数: 0 / 0

プロセスを計画する

プロセス名 / 帳票	ステータス	帳票を提出する	帳票を受け取る	開始予定日時	期限日時
空コンピック (本牧BC: OO)	未処理	株式会社仁徳 ターミナル業務部			

プロセスが開始されていません。

②「+ 追加」をクリックして、コンテナ要求番号を追加します
※コンテナ要求番号1つに対して、空コンテナピックアップオーダーが1帳票作成されます
コンテナ要求番号は自動で採番されるので、手入力する必要はありません

プロセスを開始する

プロセスグループ名
コンテナ搬出

開始するプロセス
空コンピック (本牧BC: OO)

プロセス種別 必須
帳票を提出する

プロセスで取り扱う帳票 必須
UL060: 空コンテナピックアップオーダー

コンテナ要求番号を入力

CR_001 (新規作成)

帳票を提出する取引関係先 必須

帳票を受け取る取引関係先

株式会社仁徳
ターミナル業務部

メッセージ 任意

+ 追加

プロセスを削除する

プロセスを開始する

③「帳票を提出する取引関係先」を選択して、「プロセスを開始する」をクリック

プロセスを開始する

プロセスグループ名
コンテナ搬出

開始するプロセス
空コンピック (本牧BC: OO)

プロセス種別 必須
帳票を提出する

プロセスで取り扱う帳票 必須
UL060: 空コンテナピックアップオーダー

コンテナ要求番号を入力

CR_001 (新規作成)

帳票を提出する取引関係先 必須
株式会社柴葉エクスプレス 国際運送事業部

帳票を受け取る取引関係先

株式会社仁徳
ターミナル業務部

メッセージ 任意

+ 追加

プロセスを削除する

プロセスを開始する

4. 帳票(空コンピックアップオーダー)の作成

④プロセスが開始されて、ステータスが「処理中」になります
プロセス内に空コンテナピックアップオーダーの帳票が追加されているので、帳票名をクリック



※この画面からも「+ 追加」ボタンで空コンテナピックアップオーダー帳票を追加作成できます

⑤空コンテナピックアップオーダーの帳票入力画面が表示されます



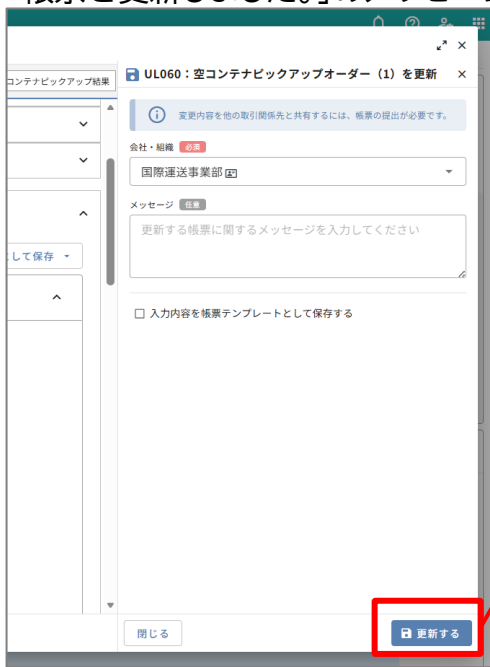
⑥必須項目には 必須 マークが付きます
提出時に必須入力のチェックが行われます

⑦帳票項目の入力が終わったら
「更新する」をクリック

4. 帳票(空コンピックアップオーダー)の作成

12

⑧もう一度「更新する」ボタンが表示されるのでクリック、続けて「OK」をクリックします
「帳票を更新しました。」のメッセージが表示されると更新完了です



確認

帳票を更新しますか？

キャンセル **OK**

帳票を更新しました。

⑨更新完了後に「提出する」をクリック



⑩もう一度「提出する」ボタンが表示されるのでクリック、続けて「OK」をクリックします
「帳票を提出しました。」のメッセージが表示されると提出完了です




確認

帳票を提出しますか？

キャンセル **OK**

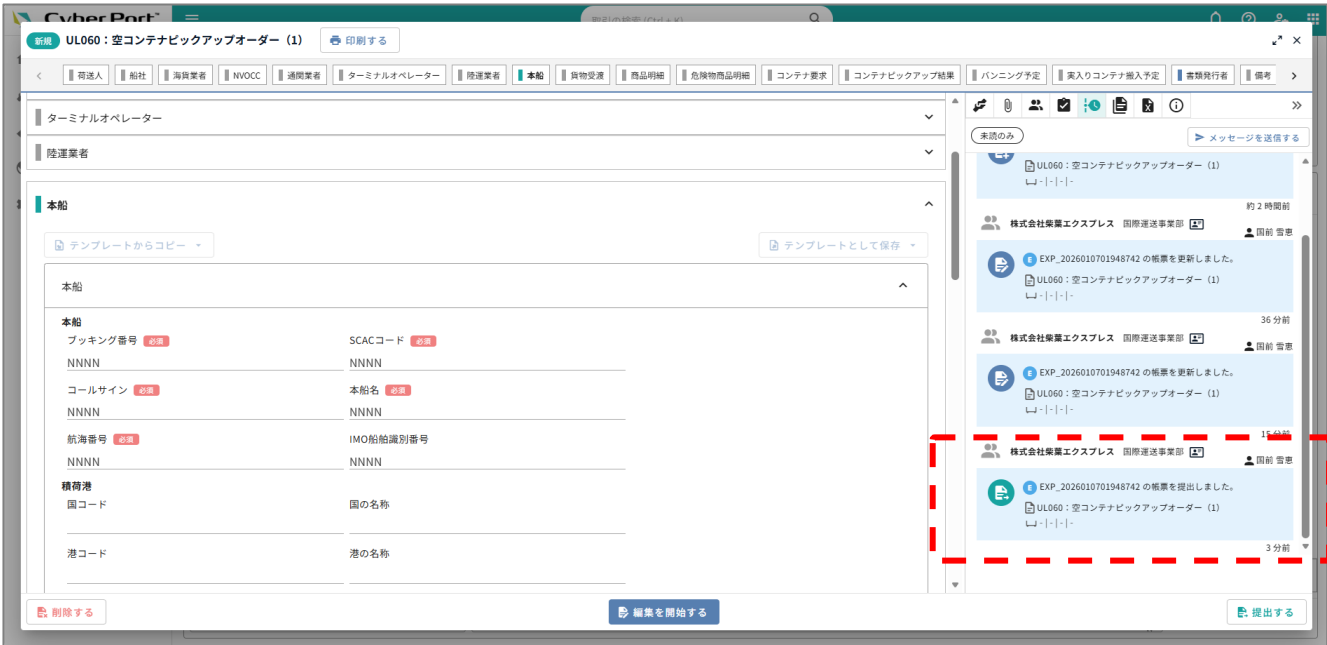
帳票を提出しました。



提出することでターミナルに連携されます。未提出では、ターミナルに連携されていないのでご注意ください。

13

NG 必須項目に未入力がある場合は、エラーメッセージが表示されます。
カードの状態バーの色を確認して、必須項目を入力してください。



5. 画面での受付結果の確認

14

サイバーポートの画面で帳票の提出が完了すると、ターミナル(TOS)でのチェックが実行され、エラー内容や予約番号発行有無といった状況に応じて、ターミナルから通知が届きます。

エラーなしで正常に受付された場合は、予約番号が帳票の項目「空コンテナ予約番号」に記入され、Cyber Port の通知機能を用いて取引に参加している組織に対して通知が届きます。

TOSのチェックでエラーがある場合、通常はエラー内容が備考末尾に入力され、Cyber Port の通知機能を用いて取引に参加している組織に対して通知が届きますが、緊急時やイレギュラーケースなど、電話での個別連絡となる場合があります。

<TOSチェック結果状況別の通知方法・内容>

No.	エラー有無	エラー内容	通知方法	予約番号	返信内容・記入欄(赤字)
1	エラーなし	－	Cyber Port の画面および通知機能(メール*1)	発行後	予約番号: 空コンテナ予約番号に記入 連絡事項: 備考末尾に記入*2
2				発行前	予約番号: なし(未発行) 連絡事項: 備考末尾に記入*3
3	エラーあり	必須チェックエラー			エラー内容: 備考末尾に記入*2 (複数エラーがある場合は、1項目にまとめて記入する)
4		型桁チェックエラー			
5		コード(マスタ)チェックエラー			
6		その他イレギュラーなエラー	個別連絡(電話)		－

- *1: サイバーポートの通知受信方法には、メール方式、Webhook方式の2つがあります(初期設定はメール方式)
- *2: 備考末尾にターミナルが連絡事項やエラー内容を記入します
- *3: 何らかの理由で予約番号が未発行の場合は備考に連絡事項を記入し、受付完了のみを通知します

■No.1:エラーなしで予約番号が発行された場合の画面

訂正

UL060 : 空コンテナピックアップオーダー (1)

印刷する

荷送人

船社

海貨業者

NVOCC

通関業者

ターミナルオペレーター

陸運業者

本船

貨物受渡

商品明細

危険物商品明細

コンテナ要求

コンテナピックアップ結果

コンテナピックアップ結果

テンプレートからコピー

テンプレートとして保存

JP | EN

1

コンテナ

空コンテナ予約番号

0256346

コンテナ本数

電話番号

場所の名称

FAX番号

「空コンテナ予約番号」に予約番号が記入された状態でターミナル組織から送信されます

備考

テンプレートからコピー

テンプレートとして保存

タイトル

サンプル表示) 備考 1

備考

サンプル表示) 備考 1

連絡事項がある場合、「備考」の末尾行に記入されます

タイトル

サンプル表示) 備考末尾

備考

連絡事項がある場合は、備考末尾に記入します。

5. 画面での受付結果の確認

15

■No.2:エラーなしだが予約番号が未発行の場合の画面

訂正

UL060 : 空コンテナピックアップオーダー (1)

印刷する

荷送人

船社

海貨業者

NVOCC

通関業者

ターミナルオペレーター

陸運業者

本船

貨物受渡

商品明細

危険物商品明細

コンテナ要求

コンテナピックアップ結果

コンテナピックアップ結果

テンプレートからコピー

テンプレートとして保存

JP | EN

1

「空コンテナ予約番号」は空白のまま

コンテナ

空コンテナ予約番号

コンテナ搬出場所

場所コード

電話等での連絡先

電話番号

備考

テンプレートからコピー

テンプレートとして保存

タイトル

サンプル表示) 備考 1

備考

サンプル表示) 備考 1

受付完了している旨の連絡が、「備考」の末尾行に記入されます

タイトル

サンプル表示) 受付完了

備考

受付は完了しておりますが、現在予約番号の発行待ちです。
予約番号発行後に再度通知を送信いたします。

■No.3～5:TOSのチェックでエラーとなった場合の画面

訂正

UL060 : 空コンテナピックアップオーダー (1)

印刷する

荷送人

船社

海貨業者

NVOCC

通関業者

ターミナルオペレーター

陸運業者

本船

貨物受渡

商品明細

危険物商品明細

コンテナ要求

コンテナピックアップ結果

コンテナピックアップ結果

テンプレートからコピー

テンプレートとして保存

JP | EN

1

「空コンテナ予約番号」は空白のまま

コンテナ

空コンテナ予約番号

コンテナ搬出場所

場所コード

電話等での連絡先

電話番号

備考

テンプレートからコピー

テンプレートとして保存

タイトル

サンプル表示) 備考 1

備考

サンプル表示) 備考 1

TOSでのエラー内容が、「備考」の末尾行に記入されます
※エラーが複数ある場合は1項目にまとめて記入されます

タイトル

サンプル表示) エラーがあります

備考

ブッキング番号が正しくありません。
〇〇〇〇が1件も入力されていません。

6. ターミナル受付後の修正/キャンセル


16

ターミナルによる受付が完了した後に修正やキャンセルが必要になった場合の操作について、ケースごとの対応内容を以下の表にまとめています。

※対応内容に問題があった場合や、イレギュラーなケースについては、ターミナルから個別に連絡させていただきます

<ターミナル受付後のケース別対応一覧>

No.	ケース	対応
1	オーダーをキャンセルするとき	帳票を「削除」してください。
2	一度申し込んだオーダーコンテナ本数が減るとき	帳票の「コンテナ本数」を変更して再提出してください。
3	一度申し込んだオーダーコンテナ本数が増えるとき (予約番号発番前)	帳票の「コンテナ本数」を変更して再提出してください。
4	一度申し込んだオーダーコンテナ本数が増えるとき (予約番号発番後)	Cyber Port で作成済みの取引に新たに帳票を追加して、追加本数分を改めてオーダーしてください。 (例:1本を先にオーダーし予約番号を受信したが、その後2本追加(合計3本口)でオーダーするときは 取引内に新たに帳票を追加作成し、引取本数を2本でオーダーする)
5	本船等が変更になったとき	帳票上の変更になった項目を変更して再提出してください。



修正やキャンセルについては対応可能な期限がコンテナタイプ、およびターミナルによって異なります。修正期限については対象のターミナルにお問い合わせください。

<修正期限の設定例>


ドライコンテナ: ピックアップ前まで

リーファーコンテナ: 前々日16時まで

7. 作成済み帳票へのプロセス適用

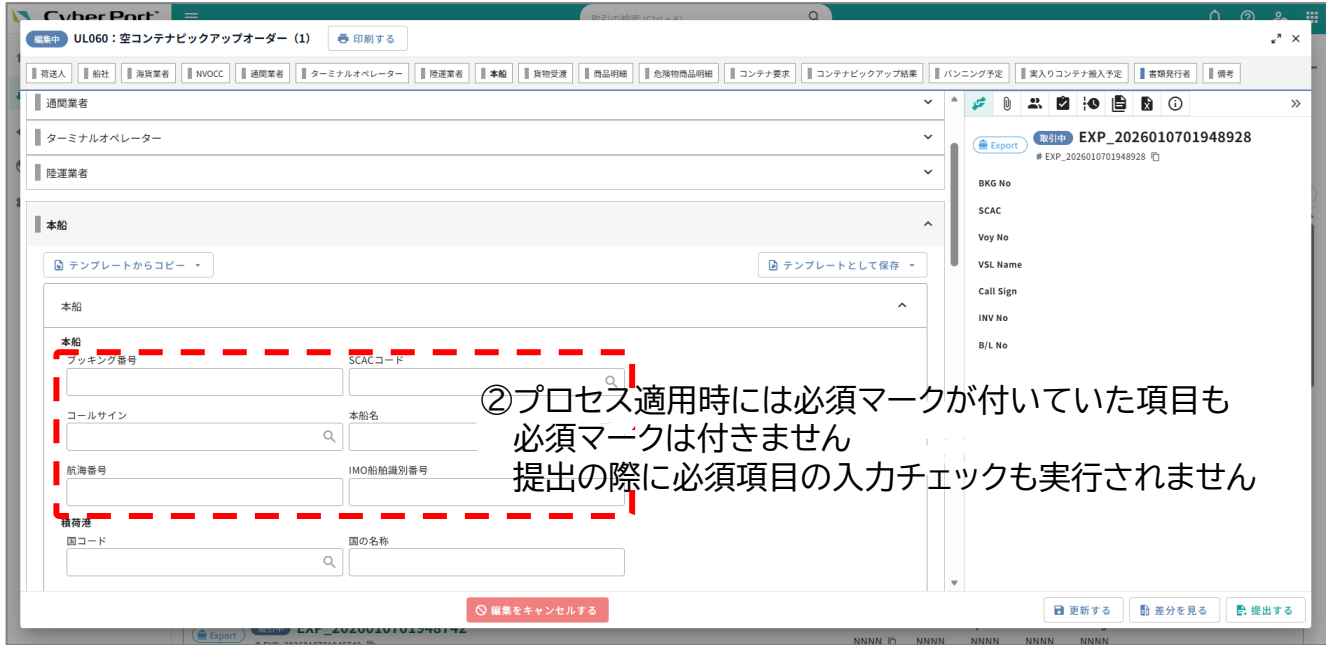
17

プロセスからの帳票作成ではなく、帳票の一覧などから先に帳票を作成した場合に、後からプロセスを適用する方法を記載します。




本手順の操作は誤って先に帳票を作成してしまった場合の対処を想定しております。
ターミナル連携をご利用の際は、プロセスからの帳票作成の手順を強く推奨します。

- ①取引を作成し、「帳票の一覧」から「空コンテナピックアップオーダー」を作成
- ※取引関係先に対象のターミナル組織を[2. 取引関係先に追加]に記載の手順に沿って追加します



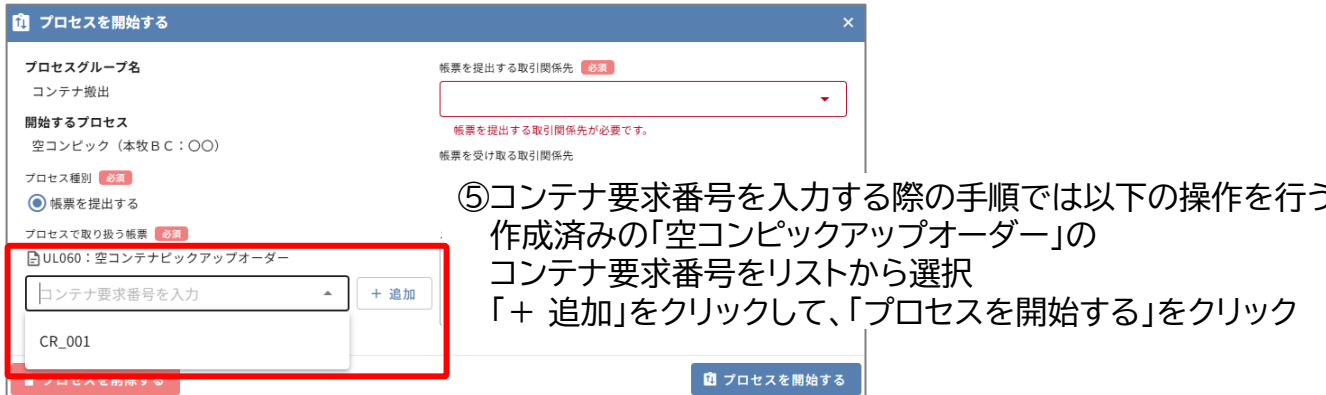
②プロセス適用時には必須マークが付いていた項目も必須マークは付きません
提出の際に必須項目の入力チェックも実行されません



ここで帳票を提出した場合にも、取引に追加されているターミナル組織に通知がされますが、必須項目の入力チェックが実行されないため、プロセス適用後に提出してください。

- ③[3. コンテナ搬出のプロセスの追加(空コンピックアップ)]に記載の手順に沿ってプロセスを追加

- ④[4. 帳票(空コンピックアップオーダー)の作成]に記載の手順に沿ってプロセスを開始



⑤コンテナ要求番号を入力する際の手順では以下の操作を行う
作成済みの「空コンピックアップオーダー」の
コンテナ要求番号をリストから選択
「+ 追加」をクリックして、「プロセスを開始する」をクリック

18

必須項目に必須マークが付いていることが確認できます

CyberPort

編集中 UL060 : 空コンテナピックアップオーダー (1) [印刷する]

< | 荷選入 | 船社 | 海貨業者 | INVOCC | 通関業者 | ターミナルオペレーター | 陸運業者 | **本船** | 貨物受渡 | 商品明細 | 危険物商品明細 | コンテナ要求 | コンテナピックアップ結果 | バンニング予定 | 実入りコンテナ搬入予定 | 書類発行者 | 備考 >

▼ 陸運業者

本船

[テンプレートからコピー] [テンプレートとして保存]

本船

本船

ブック番号 (必須) SCACコード (必須)

コールサイン (必須) 本船名 (必須)

NNNN

航海番号 (必須) IMO船舶識別番号

積荷港

国コード 国の名称

港コード 港の名称

[編集をキャンセルする]

[更新する] [差分を見る] [提出する]

以上で、帳票作成後のプロセス適用が完了です。項目入力後、提出まで実施してください。

取引の作成

1	取引の作成(輸入)	P.20
2	取引関係先の追加	P.21



プロセスからの帳票作成

3	コンテナ搬出のプロセスの追加	P.23
4	帳票(コンテナ貨物搬出票)の作成	P.25



ターミナル受付後の操作


5	画面での受付結果の確認	P.29
6	ターミナル受付後の修正/キャンセル	P.32

その他

7	作成済み帳票へのプロセス適用	P.35
---	----------------	------

1. 取引の作成(輸入)

実入りコンテナ搬出票を登録するための輸入取引を作成します。



組織・利用者アカウントの設定がまだの方は、操作マニュアルの「組織を管理する」「利用者を管理する」を参照して、先に設定してください。

①CPログイン後、左側のメニューから「取引」をクリック



②「取引を作成する」をクリック

取引の作成

取引タイプ 必須

Import

取引名 任意

取引名を指定しない場合は、取引管理番号が取引名となります。

取引のオーナー 必須

国際運送事業部

取引のパートナー

無し

取引の作成後に追加します。

作成する取引に関するメッセージ 任意

+ 作成する

⑦「作成する」をクリック

確認

取引を作成しますか？

キャンセル

OK

⑧確認画面が表示されますので、「OK」をクリックすると、新規に取引が作成されます。

2. 取引先関係先の追加

21

ターミナルとの連携機能を利用するため、
「取引関係先」に対象のターミナル組織を追加する必要があります。

①作成した取引の取引関係先を開いて、「取引関係先を追加する」をクリック



②取引関係先の検索方法を指定する



検索方法と内容

検索方法		内容
A	以前追加した会社・組織を検索	ユーザーの所属組織が過去に取引関係先として追加したことのある会社・組織の中から取引関係先を検索。
B	全ての会社・組織を検索	サイバーポートに登録されている全ての会社・組織から、取引関係先を検索。 ※ 会社名は部分一致で検索
C	組織IDで検索	組織IDを指定して取引関係先を検索。 ※ 検索欄に入力の上、完全一致で検索

2. 関係取引先の追加

取引関係先の追加

1 検索方法を指定する

2 取引関係先を選択する

3 取引関係先を追加する

取引関係先

事業種別

組織ID

株式会社仁徳

ターミナル業務部

ターミナルオペレータ

※こちらのターミナル会社・組織はサンプル

すべてのデータを表示しました。

④検索結果から 追加する取引関係先 を選択

対象のターミナル組織が選択されていることを確認。
※対象のターミナル組織については、本マニュアル末尾に掲載の表「ターミナル組織別 プロセス一覧」をご参照ください。

⑤「次へ」をクリック

戻る

次へ

取引関係先の追加

1 検索方法を指定する

2 取引関係先を選択する

3 取引関係先を追加する

招待元となる会社・組織 必須

取引関係先の招待元となる会社・組織を選択します。
招待元となる会社・組織は、取引関係先の帳票アクセス権限の変更等が行えます。

国際運送事業部

追加する取引関係先

取引関係先

事業種別

組織ID

株式会社仁徳

ターミナル業務部

ターミナルオペレータ

⑥追加する取引関係先の確認

⑦「取引関係先を追加する」をクリック

戻る

取引関係先を追加する

Cyber Port™

取引の検索 (Ctrl + K)

取引の一覧

検索条件

基本 取引 帳票 日付 積荷港 / 荷役港

キーワード

取引タイプ

ステータス

検索する

クリア

IMP_2026010801949459

BKG No

SCAC

Voy No

VSL Name

Call Sign

INV No

B/L No

船積書

入港

輸入指図

申告・許可

D/O発行

コンテナ搬出

配送・デバン

取引関係先

⑧ターミナルが取引関係先に追加される

取引関係先

事業種別

役割

組織ID

株式会社仁徳

ターミナル業務部

ターミナルオペレータ

CYBERPORT1004_01

株式会社東葉エクスプレス

国際運送事業部

NVOCC/フォワーダ

オーナー

CYBERPORT1008_01

3. コンテナ搬出のプロセスの追加(コンテナ貨物搬出票)

ターミナルが対応しているコンテナ搬出のプロセスを追加することにより、対象帳票(コンテナ貨物搬出票)に対して、提出時点で必須項目をチェックすることが可能となります。

①CPログイン後、対象の取引を表示し、「コンテナ搬出」のプロセスグループをクリック



②「プロセスを計画する」をクリック



③「計画するプロセスを選択」画面が表示されます。取引関係先に追加したターミナル組織が対応しているプロセスを選択して、「プロセスを計画する」をクリック



3. コンテナ搬出のプロセスの追加(コンテナ貨物搬出票)

- ④「プロセスを計画」画面が表示されるので、「プロセスを計画する会社・組織」を選択して「計画する」をクリック(開始予定日時、期限日時は未入力で構いません)

取引の検索 (Ctrl + K)

一覧に戻る

Import 取引中 IMP_2026010801949459 # IMP_2026010801949459

船積書類 入港 輸入指図

コンテナ搬出

完了しているプロセス数: 0 / 0

プロセス名 / 帳票

タイムライン

株式会社柴葉エクスプレス 国際運送事業部

プロセスを計画

プロセス名
実入り搬出申込 (本牧BC : ○○○○)

帳票を提出する組織
プロセス開始時に設定

帳票を受け取る組織
株式会社仁徳
ターミナル業務部

プロセスを計画する会社・組織 必須
株式会社柴葉エクスプレス 国際運送事業部

開始予定日時 任意 期限日時 任意

メッセージ 任意

計画する

計画するプロセスを選択

計画するプロセス
プロセスグループ 必須
コンテナ搬出

プロセス 必須
実入り搬出申込 (本牧BC : ○○○○) カスタム

プロセスで取り扱う帳票
UL320 : コンテナ貨物搬出票

プロセスの説明
説明はありません。

帳票を提出する組織
プロセス開始時に設定

帳票を受け取る組織
株式会社仁徳
ターミナル業務部

プロセスを計画する

- ⑤コンテナ搬出プロセスグループに プロセス が追加される

取引の検索 (Ctrl + K)

一覧に戻る

Import 取引中 IMP_2026010801949459 # IMP_2026010801949459

BKG No SCAC Voy No VSL Name Call Sign

INV No B/L No

船積書類 入港 輸入指図 申告・許可 D/O発行 コンテナ搬出 配送・デバンコ

最終更新: 25 分前

コンテナ搬出

完了しているプロセス数: 0 / 0

プロセスを計画する

プロセス名 / 帳票	ステータス	帳票を提出する	帳票を受け取る	開始予定日時	期限日時
実入り搬出申込 (本牧BC : ○○○○)	未処理	株式会社仁徳 ターミナル業務部			

プロセスが開始されていません。

4. 帳票(コンテナ貨物搬出票)の作成

①追加されたプロセスのタイトルをクリックして、「プロセスを開始する」画面を開きます

取引の検索 (Ctrl + K)

一覧に戻る

Import 取引中 IMP_2026010801949459

BKG No SCAC Voy No VSL Name Call Sign

INV No B/L No

船積書類 入港 輸入指図 申告・許可 D/O発行 コンテナ搬出 配送・デバン

最終更新: 25 分前

コンテナ搬出

完了しているプロセス数: 0 / 0

プロセスを計画する

プロセス名 / 帳票	ステータス	帳票を提出する	帳票を受け取る	開始予定日時	期限日時
実入り搬出申込 (本牧BC: ○○○○)	未処理	株式会社仁徳 ターミナル業務部			

プロセスが開始されていません。

②コンテナ番号を入力して、「+ 追加」をクリック
※コンテナ番号1つに対して、コンテナ貨物搬出票が1帳票作成されます
コンテナ貨物搬出票が作成された後でもコンテナ番号は変更可能です

プロセスを開始する

プロセスグループ名
コンテナ搬出

開始するプロセス
実入り搬出申込 (本牧BC: ○○○○)

プロセス種別 必須
帳票を提出する

プロセスで取り扱う帳票 必須
UL320: コンテナ貨物搬出票

コンテナ番号を入力

+ 追加

CN_001 (新規作成)

帳票を提出する取引関係先 必須

帳票を受け取る取引関係先

株式会社仁徳
ターミナル業務部

メッセージ 任意

プロセスを削除する

プロセスを開始する

③「帳票を提出する取引関係先」を選択して、「プロセスを開始する」をクリック

プロセスを開始する

プロセスグループ名
コンテナ搬出

開始するプロセス
実入り搬出申込 (本牧BC: ○○○○)

プロセス種別 必須
帳票を提出する

プロセスで取り扱う帳票 必須
UL320: コンテナ貨物搬出票

コンテナ番号を入力

+ 追加

CN_001 (新規作成)

帳票を提出する取引関係先 必須
株式会社柴葉エクスプレス 国際運送事業部

帳票を受け取る取引関係先

株式会社仁徳
ターミナル業務部

メッセージ 任意

プロセスを削除する

プロセスを開始する

4. 帳票(コンテナ貨物搬出票)の作成

④プロセスが開始されて、ステータスが「処理中」になります
プロセス内にコンテナ貨物搬出票の帳票が追加されているので、帳票名をクリック

※この画面からも「+ 追加」ボタンで
コンテナ貨物搬出票を追加作成できます

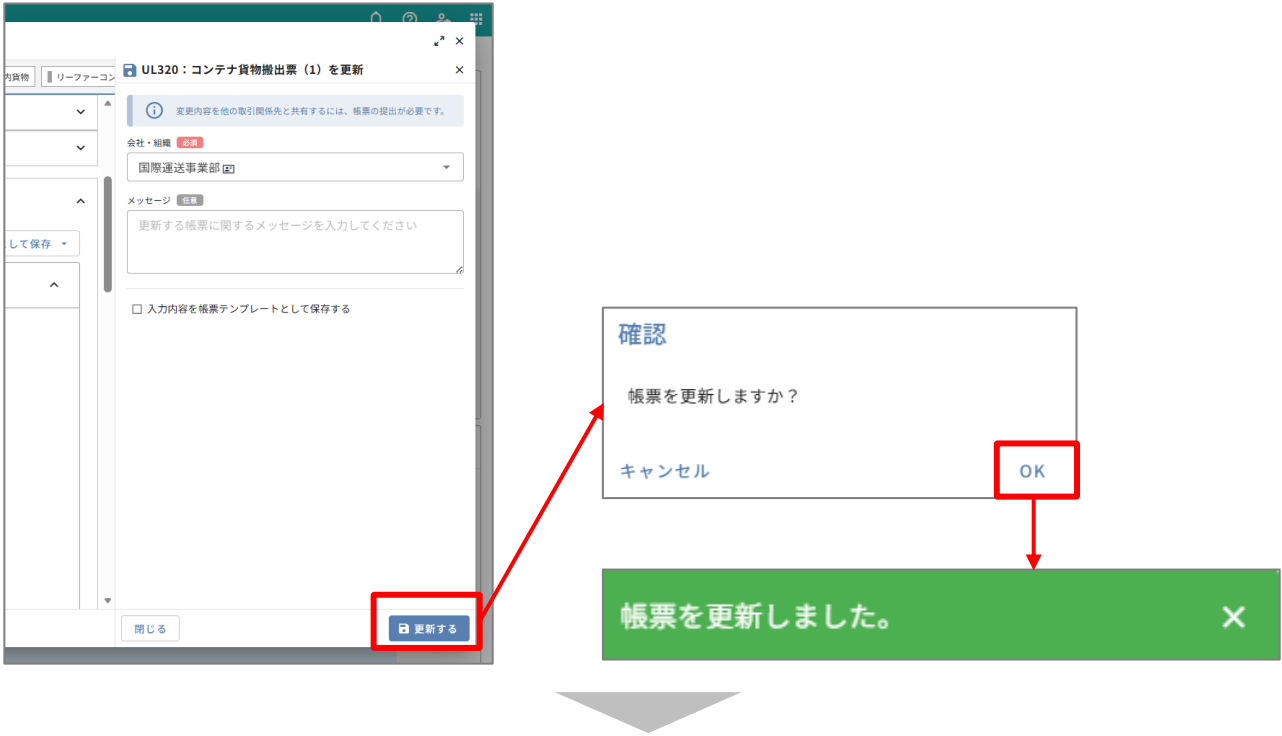
⑤コンテナ貨物搬出票の帳票入力画面が表示されます

⑥必須項目には **必須** マークが付きます
提出時に必須入力のチェックが行われます

⑦帳票項目の入力が終わったら
「更新する」をクリック

4. 帳票(コンテナ貨物搬出票)の作成

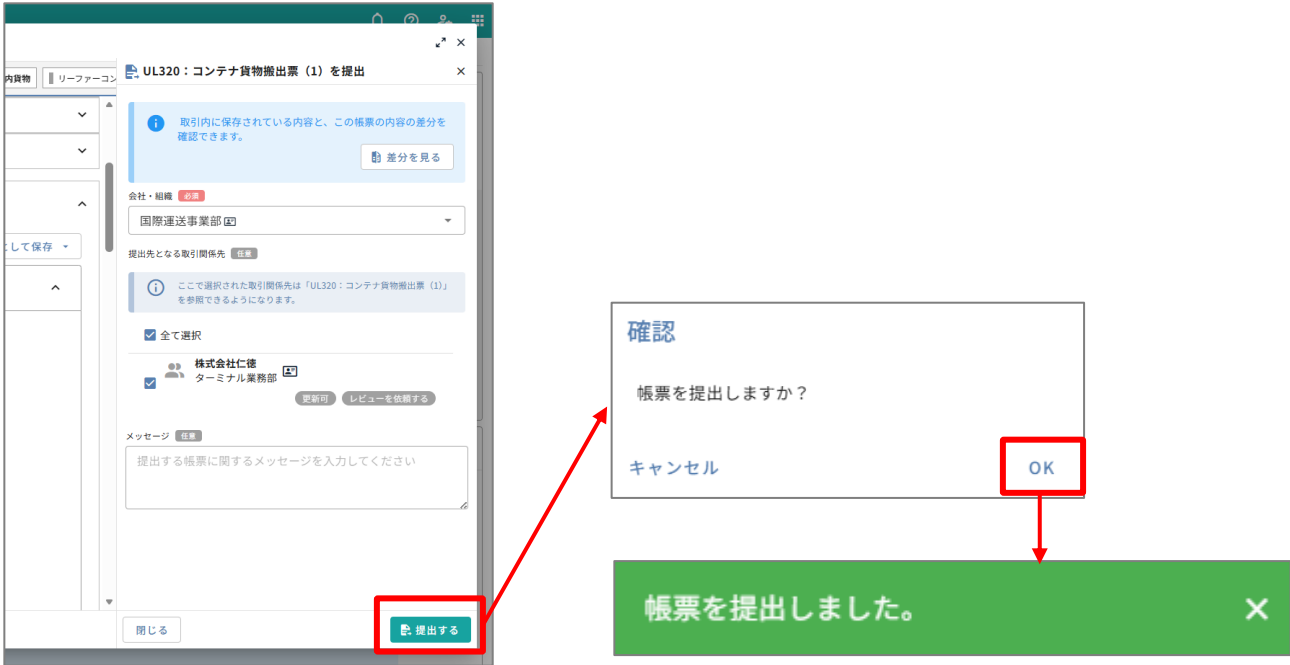
⑧もう一度「更新する」ボタンが表示されるのでクリック、続けて「OK」をクリックします
「帳票を更新しました。」のメッセージが画面に表示されると更新完了です



⑨更新完了後に「提出する」をクリック



⑩もう一度「提出する」ボタンが表示されるのでクリック、続けて「OK」をクリックします
「帳票を提出しました。」のメッセージが画面に表示されると提出完了です



提出することでターミナルに連携されます。未提出では、ターミナルに連携されてい
ませんのでご注意ください。

4. 帳票(コンテナ貨物搬出票)の作成

提出時にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容に従い修正を行って再度提出してください。※エラー発生時にはターミナルへの連携は行われません

NG 必須項目に未入力がある場合は、エラーメッセージが表示されます。カードの状態バーの色を確認して、必須項目を入力してください。

編集 編集中 UL320 : コンテナ貨物搬出票 (1) 印刷する

荷送人 荷受人 船社 海貨業者 NVOCC 通関業者 ターミナルオペレーター 陸運業者 輸入代理店 着荷通知先 本船 貨物受渡

UL320 : コンテナ貨物搬出票 (1) を提出

輸入代理店 着荷通知先 本船 貨物受渡

コンテナ内貨物 CN_001|-|-|

リーファーコンテナ

コンテナ仕様

コンテナ状態

実入りコンテナ搬出

デバンニング

船荷証券

D/O

状態バー 意味

1つの項目も入力されていない状態

1つ以上の項目が入力された状態

必須項目が設定されていて、入力されていない必須項目がある状態

必須項目が設定されていて、全ての必須項目が入力されている状態

会社・組織 必須 業部

関係先 任意

で選択された取引(関係先は「UL320 : コンテナ貨物搬出票」を参照できるようになります。

株式会社仁徳 ターミナル業務部

更新可 レジューを依頼する

提出する

i 各帳票の必須項目の一覧については、本マニュアル末尾に掲載の表「[コンテナ貨物搬出票 必須項目一覧](#)」をご参照ください。

OK 提出が正常に完了した際には、タイムラインで「提出」の履歴が確認できます

新規 UL320 : コンテナ貨物搬出票 (1) 印刷する

荷送人 荷受人 船社 海貨業者 NVOCC 通関業者 ターミナルオペレーター 陸運業者 輸入代理店 着荷通知先 本船 貨物受渡 コンテナ内貨物 リーファーコンテナ コンテナ仕様 コンテナ状態 実入りコンテナ搬出 デバンニング

本船

テンプレートからコピー

テンプレートとして保存

本船

本船

ブッキング番号 SCACコード

コールサイン 本船名 必須 NNNN

航海番号 必須 IMO船舶識別番号 NNNN

積荷港 国コード 国の名称

港コード 港の名称

未読のみ

メッセージを送信する

UL320 : コンテナ貨物搬出票 (1) CN_001|-|-| 53分前

株式会社東葉エクスプレス 国際運送事業部 国前 告退

IMP_2026010801949459 の帳票を更新しました。 UL320 : コンテナ貨物搬出票 (1) CN_001|-|-| 9分前

株式会社東葉エクスプレス 国際運送事業部 国前 告退

IMP_2026010801949459 の帳票を更新しました。 UL320 : コンテナ貨物搬出票 (1) CN_001|-|-| 1分未満前

株式会社東葉エクスプレス 国際運送事業部 国前 告退

削除する

編集を開始する

提出する

5. 画面での受付結果の確認

29

サイバーポートの画面で帳票の送信が完了すると、ターミナル(TOS)でのチェックが実行され、エラー内容や予約番号発行有無といった状況に応じて、ターミナルから通知が届きます。

エラーなしで正常に受付された場合は、予約番号が帳票の項目「コンテナ搬出番号」に記入され、Cyber Port の通知機能を用いて取引に参加している組織に対して通知が届きます。

TOSのチェックでエラーがある場合、通常はエラー内容が備考末尾に入力され、Cyber Port の通知機能を用いて取引に参加している組織に対して通知が届きますが、緊急時やイレギュラーケースなど、電話での個別連絡となる場合があります。


<TOSチェック結果状況別の通知方法・内容>

No.	エラー有無	エラー内容	通知方法	予約番号	返信内容・記入欄(赤字)
1	エラーなし	-	Cyber Port の画面および通知機能(メール* ¹)	発行後	予約番号: コンテナ搬出番号 に記入 連絡事項: 備考末尾 に記入* ²
2				発行前	予約番号: なし(未発行) 連絡事項: 備考末尾 に記入* ³
3	エラーあり	必須チェックエラー	Cyber Port の画面および通知機能(メール* ¹)		エラー内容: 備考末尾 に記入* ² (複数エラーがある場合は、1項目にまとめて記入する)
4		型桁チェックエラー			
5		コード(マスタ)チェックエラー			
6		その他イレギュラーなエラー	個別連絡(電話)		-

*1: サイバーポートの通知受信方法には、メール方式、Webhook方式の2つがあります(初期設定はメール方式)

*2: 備考末尾にターミナルが連絡事項やエラー内容を記入します

*3: 何らかの理由で予約番号が未発行の場合は備考に連絡事項を記入し、受付完了のみを通知します



特殊バン、スーパーリーファー、タンクリーファーの場合には、ターミナルで受付された旨を備考末尾に記入して通知した後に、個別連絡となります。
(コンテナ番号によりターミナル側で判断されます)

5. 画面での受付結果の確認

No.1:エラーなしで予約番号が発行された場合の画面

訂正

UL320 : コンテナ貨物搬出票 (1)

印刷する

荷送人

荷受人

船社

海貨業者

NVOCC

通関業者

ターミナルオペレーター

陸運業者

輸入代理店

着荷通知先

本船

貨物受渡

コンテナ内貨物

リーフアー

実入りコンテナ搬出

テンプレートからコピー

登録済みの場所からコピー

JP | EN

コンテナ搬出場所

場所コード

電話等での連絡先

電話番号

実入りコンテナ搬出情報

コンテナ搬出番号

99999999

引渡日

白

場所の名称

FAX番号

備考

テンプレートからコピー

テンプレートとして保存

タイトル

サンプル表示) 備考 1

備考

サンプル表示) 備考 1

連絡事項がある場合、「備考」の末尾行に記入されます

タイトル

サンプル表示) 備考末尾

備考

連絡事項がある場合は、備考末尾に記入します。

「コンテナ搬出番号」に予約番号記入された状態でターミナル組織から送信されます

連絡事項がある場合、「備考」の末尾行に記入されます

No.2:エラーなしだが予約番号が未発行の場合の画面

訂正

UL320 : コンテナ貨物搬出票 (1)

印刷する

荷送人

荷受人

船社

海貨業者

NVOCC

通関業者

ターミナルオペレーター

陸運業者

輸入代理店

着荷通知先

本船

貨物受渡

コンテナ内貨物

リーフアー

実入りコンテナ搬出

テンプレートからコピー

登録済みの場所からコピー

JP | EN

コンテナ搬出場所

場所コード

電話等での連絡先

電話番号

実入りコンテナ搬出情報

コンテナ搬出番号

空白

引渡日

白

場所の名称

FAX番号

住所

推進番号

備考

テンプレートからコピー

テンプレートとして保存

タイトル

サンプル表示) 備考 1

備考

サンプル表示) 備考 1

受付完了している旨の連絡が、「備考」の末尾行に記入されます

タイトル

サンプル表示) 受付完了

備考

申請を受け付けました。
スーパーリーファーのため、担当者から個別に連絡いたします。

「コンテナ搬出番号」は空白のまま

受付完了している旨の連絡が、「備考」の末尾行に記入されます

5. 画面での受付結果の確認

■No.3～5:TOSのチェックでエラーとなった場合の画面

訂正

UL320：コンテナ貨物搬出票（1）

印刷する

荷送人

荷受人

船社

海貨業者

NVOCC

通関業者

ターミナルオペレーター

陸運業者

輸入代理店

荷荷通知先

本船

貨物受渡

コンテナ内貨物

リーフアール

実入りコンテナ搬出

テンプレートからコピー

登録済みの場所からコピー

テンプレートとして保存

JP | EN

コンテナ搬出場所

場所コード

場所の名称

住所

電話等での連絡先

電話番号

FAX番号

推定番号

実入りコンテナ搬出情報

コンテナ搬出番号

引渡日

日

備考

テンプレートからコピー

テンプレートとして保存

タイトル

サンプル表示）備考 1

備考

サンプル表示）備考 1

タイトル

サンプル表示）エラーがあります

備考

コンテナ番号が正しくありません。

入力されたBL番号が存在しません。

「コンテナ搬出番号」は空白のまま

TOSでのエラー内容が、「備考」の末尾行に記入されます
※エラーが複数ある場合は1項目にまとめて記入されます

6. ターミナル受付後の修正/キャンセル


32

ターミナルによる受付が完了した後に修正やキャンセルが必要になった場合の操作について、ケースごとの対応内容を以下の表にまとめています。

※対応内容に問題があった場合や、イレギュラーなケースについては、ターミナルから個別に連絡させていただきます

<ターミナル受付後のケース別対応一覧>

No.	ケース	対応
1	キャンセルするとき	帳票を「削除」してください。
2	本船、航海番号、コンテナ明細等の内容が変更になった場合	Cyber Port で作成済みの帳票に対して変更内容を反映し、再提出してください。

修正やキャンセルについては対応可能な期限がコンテナタイプ、およびターミナルによって異なります。修正期限については対象のターミナルにお問い合わせください。


<修正期限の設定例>

ドライコンテナ： 搬出前まで

リーファーコンテナ： 前々日16時まで

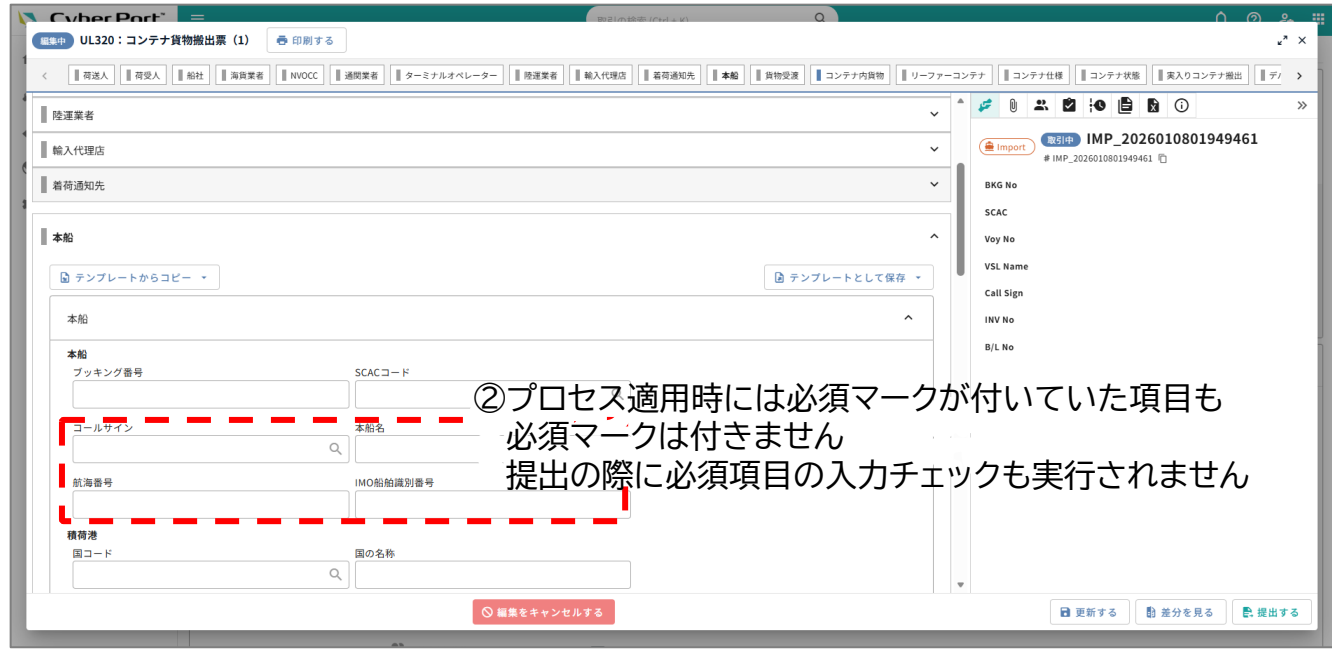
7. 作成済み帳票へのプロセス適用


プロセスからの帳票作成ではなく、帳票の一覧などから先に帳票を作成した場合に、後からプロセスを適用する方法を記載します。



本手順の操作は誤って先に帳票を作成してしまった場合の対処を想定しております。
ターミナル連携をご利用の際は、プロセスからの帳票作成の手順を強く推奨します。

- ①取引を作成し、「帳票の一覧」から「コンテナ貨物搬出票」を作成
- ※取引関係先に対象のターミナル組織を[2. 取引関係先に追加]に記載の手順に沿って追加します

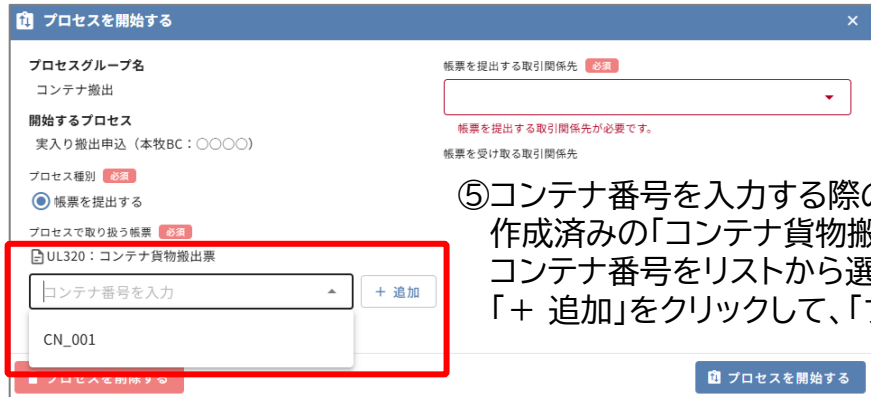




ここで帳票を提出した場合にも、取引に追加されているターミナル組織に通知がされますが、必須項目の入力チェックが実行されないため、プロセス適用後に提出してください。

- ③[3. コンテナ搬出のプロセスの追加(コンテナ貨物搬出票)]に記載の手順に沿ってプロセスを追加

- ④[4. 帳票(コンテナ貨物搬出票)の作成]に記載の手順に沿ってプロセスを開始



- ⑤コンテナ番号を入力する際の手順では以下の操作を行う
作成済みの「コンテナ貨物搬出票」の
コンテナ番号をリストから選択
「+ 追加」をクリックして、「プロセスを開始する」をクリック

7. 作成済み帳票へのプロセス適用

⑥引き続き[4. 帳票(コンテナ貨物搬出票)の作成]に記載の手順に沿って進めると必須項目に必須マークが付いていることが確認できます

以上で、帳票作成後のプロセス適用が完了です。項目入力後、提出まで実施してください。

各種一覧

1	ターミナル組織別 プロセス一覧	P.36
2	帳票別 必須項目一覧	P.37
3	問合せ先一覧	P.38

1. ターミナル組織別 プロセス一覧

36

本マニュアルの連携対象となるターミナルの会社・組織と、それぞれの組織に設定されているプロセス名の一覧を以下に掲載しています。

Cyber Port の画面操作における組織追加、およびプロセス追加時にプロセス選択する際にご確認ください。

<ターミナル組織別 プロセス一覧>

No.	会社情報		コンテナ搬出のプロセス名	
	会社名	組織名	輸出: 空コンピックアップ オーダー	輸入: コンテナ貨物搬出票
1	鈴江コーポレーション株式会社	東京ターミナル事業所	空コンピック(青海A4:鈴江)	実入り搬出申込(青海A4:鈴江)
2	横浜港メガターミナル株式会社	鈴江コーポレーション株式会社 横浜ターミナル事業所	空コンピック(本牧BC:鈴江)	実入り搬出申込(本牧BC:鈴江)
3		山九株式会社 本牧コンテナ事業所	空コンピック(本牧BC:山九)	実入り搬出申込(本牧BC:山九)
4		東京国際埠頭株式会社 海運支店	空コンピック(本牧BC:東京国際埠頭)	実入り搬出申込(本牧BC:東京国際埠頭)
5		株式会社住友倉庫 横浜支店 海上業務課	空コンピック(本牧BC:住友倉庫)	実入り搬出申込(本牧BC:住友倉庫)
6		三菱倉庫株式会社 横浜支店 港運事業課	※船社が窓口のため 設定せず	実入り搬出申込(本牧BC:三菱倉庫)

2. 帳票別 必須項目一覧

37

業務テンプレートを適用することで入力必須となる項目について、帳票別の一覧を以下に掲載しています。

<輸出:空コンピックアップオーダー 必須項目一覧>

No.	項目名	備考
1	荷送人_会社名	
2	陸運業者_会社名	
3	本船_ブッキング番号	ローマ字と番号の間のスペースは除去
4	本船_SCACコード	
5	本船_コールサイン	NACCSで使用している コール サイン 内航船など、存在しない場合は「99999」
6	本船_本船名	
7	本船_航海番号	
8	本船_荷揚港_港コード	
9	貨物受渡_最終仕向地_港コード	
10	商品明細_商品名	
11	コンテナ要求_長さ	
12	コンテナ要求_高さ	
13	コンテナ要求_タイプ	
14	コンテナ要求_本数	
15	コンテナ要求_引渡日	
16	バンニング予定_場所の名称	
17	書類発行者_会社名	
18	書類発行者_電話番号	
19	書類発行者_担当者名	
20	書類発行者_代表メールアドレス	

<輸入:コンテナ貨物搬出票 必須項目一覧>

No.	項目名	備考
1	陸運業者_会社名	
2	本船_コールサイン	NACCSで使用している コール サイン 内航船など、存在しない場合は「99999」
3	本船_本船名	
4	本船_航海番号	
5	コンテナ内貨物_コンテナ番号	ローマ字と番号の間のスペースは除去
6	実入りコンテナ搬出_引渡日	
7	デバンニング_コンテナ搬出場所 場所の名称	
8	書類発行者_会社名	
9	書類発行者_電話番号	
10	書類発行者_担当者名	
11	書類発行者_代表メールアドレス	

1. 問合せ先一覧

本マニュアルの内容に関するお問い合わせ先は以下の通りです。

コンテナ搬入出の手続き方法や個別の申請内容に関するお問合せ

ご利用のターミナルのポータルサイトに記載の各社問合せ先にご連絡ください。

本牧ふ頭BCコンテナターミナル

- 問合せ先：
<https://www.c-terminal.com/WebManagement/html/toiawasesaki.html>

青海コンテナ埠頭C-4ターミナル

- 問合せ先：
<https://www.tokyo.c-terminal.com/WebManagementTky/html/toiawasesaki.html>

Cyber Port の操作や登録など、ご利用方法に関するお問合せ・ご意見



Cyber Port ポータルサイトにアクセスします。
(<https://www.cyber-port.net/>)



① [お問い合わせ/利用申請]をクリック

② 一番下までスクロールし、
[お問い合わせ・ご質問]をクリック